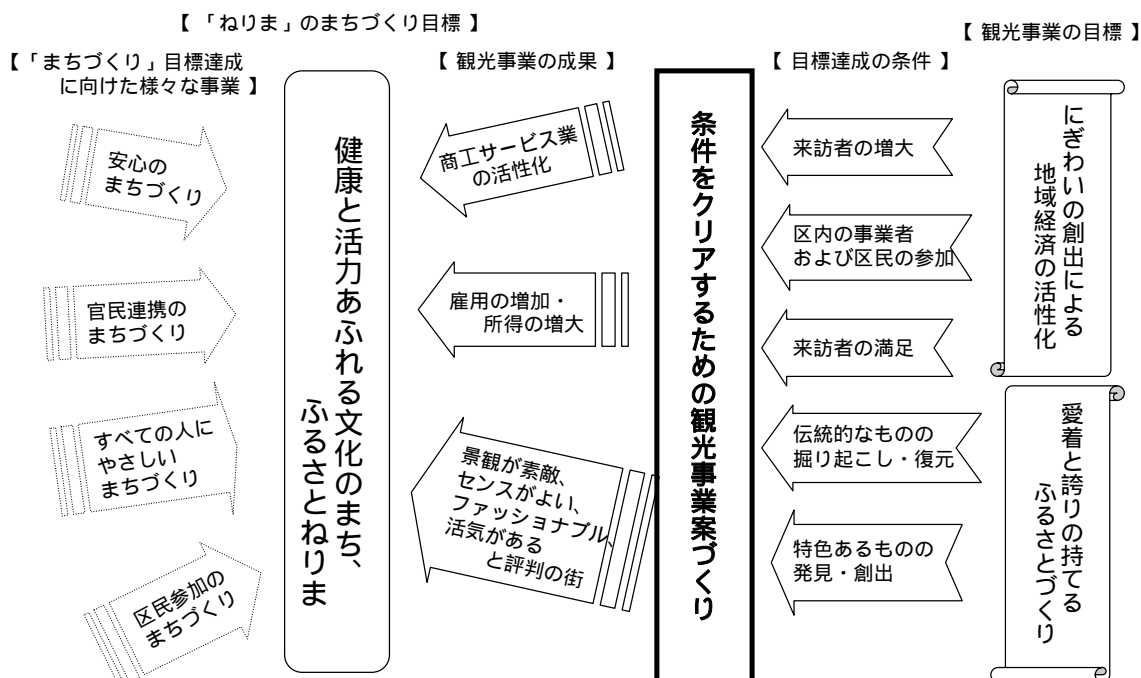


．事業案策定の趣旨

練馬区は平成 15 年 3 月に練馬区観光ビジョンを策定し、「にぎわいの創出による地域経済の活性化」と「愛着と誇りの持てるふるさとづくり」を目指して、区民、事業者とともに観光振興に取り組むこととしている。また、練馬区が取り組む観光は、来訪者が都市の景観や生活文化を楽しみ、豊かな時を過ごす練馬型「まち歩き観光」であることも指摘している。この報告書では、「練馬区観光ビジョン」が示している目標の実現に向けた具体的な観光施策、観光事業案を策定することを目的とする。

練馬区観光ビジョンでは、観光振興の基本的方向として、練馬区が持つ多様な観光資源の魅力を「みがく」、「見つける」、「創り出す」、そしてそれらを「むすぶ」ことによって「まち歩き観光」の魅力を向上させ、その魅力を積極的に発信するとしている。この推進を図るには、区民、事業者の発意と活動を最大限に活かすことが大切である。

図表 1 . 観光事業の位置づけ



練馬区観光ビジョンを受けて、この報告書においても、「観光」という言葉は、「国の光を観る…（易経）」に由来する定義に則りながらも、広いスタンスの「デジタルビジネス」（＝「来訪者誘致事業」）と考える。「来訪者」とは、練馬区自体や練馬区内に存在する《あるもの》に惹かれて、あるいは、その《あるもの》に何かを求めて訪れる人たちである。いずれにしても、「来訪者」は練馬区内を歩き、練馬区の魅力に接し、消費し、その体験を記憶にとどめて帰路に着く。

来訪者が消費することによって区内の各産業に好影響をもたらすとともに、来訪者の記憶に残った体験が好ましいものであれば、練馬区および練馬区民に好印象を持ち、良い評判が口コミで伝わることになる。（逆のことが起こり得ることに留意すべきである）。

観光振興の目的のひとつには、区内経済の活性化があり、区外に流出している区民の消費活動を区内に留めることも重要である。